

令和7年度

学校関係者評価報告書

学校法人英智学園

専門学校日本デザイナー芸術学院

## 令和7年度学校関係者評価報告書について

学校法人英智学園専門学校日本デザイナー芸術学院は、すべての教育活動・学校運営業務において、現状を客観的に確認しながら評価し、改善向上を図るために平成25年度より学校自己評価を実施しております。

また、平成31年度より引き続き本校に関係の深い方々のご意見をお聞きし、教育・学校運営に反映すべく学校関係者評価を実施しました。

今回の学校関係者評価も昨年同様書面にての開催になってしまいましたが、学校関係者委員の方々からは、職業人、社会人として必要な技術、技能、人間力の教育方法や教育環境等について、貴重なご意見をいただきました。

この貴重なご意見は今後の施策に反映し、質の高い教育の提供、より優れた学校運営を目指していこうと教職員一同、努力して参る所存です。

引き続きご指導、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

令和8年6月

学校法人英智学園  
専門学校日本デザイナー芸術学院  
校長 村上 克巳

## 学校関係者評価の実施方法と今後の取り組み

### 【評価委員】

学校教育法施行規則の規定、文部科学省ほか関係行政機関のご指導をふまえ、下記の4名の方々に評価委員をお願いいたしました。

|   | 氏名     | 所属                      | 任期                         | 種別     |
|---|--------|-------------------------|----------------------------|--------|
| 1 | 野口 和江  | 国際マルチビジネス専門学校<br>校長     | 令和8年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | 教育関係者  |
| 2 | 早坂 篤   | 有限会社スタジオ シー・オン<br>代表取締役 | 令和8年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | 企業関係者  |
| 3 | 五十嵐 冬樹 | 火花デザイン室<br>代表           | 令和8年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | 卒業生代表  |
| 4 | 高橋 正樹  | 高橋生花舗コーラルショップ<br>店長     | 令和8年4月1日から<br>令和10年3月31日まで | 地域住民代表 |

### 【評価方法】

評価者の方々に、学校関係者評価の概要および学校自己評価報告書をお送りし、令和7年度学校自己評価報告書の点検項目に沿ってご質問、ご意見をいただいた後、全員の取りまとめたご意見を再度各評価者にお送りし、結果を確認していただきました。

※今年度も書面開催の為

### 【報告書】

いただいたご意見等を学校長以下教職員で組織する学校評価委員会で承り、本報告書にとりまとめました。令和5年度学校自己評価報告書と併せてお読みください。

### 【今後の取り組み】

ご意見は、次年度以降の教育計画、教育課程編成、業務計画、施設・設備計画などを立案する際、十分に考慮し、可能な項目より実現に向けて取り組んで参ります。また学校評価事業は毎年度、継続していきます。

## 学校関係者評価者意見・質疑

### 自己評価項目別

#### (1) 教育理念・目的

- a. 特に問題なく定められていると思います。
- d. 業界についての求められるニーズは日々ものすごい速さで変化していると感じる。  
総合的な能力だけでなく、専門的なスキル、あるいは独創的アイデア力を高め  
ていく方策などへも積極的に取り組んでもらいたい。

#### (2) 学校運営

- e. 検討・決定事項が迅速かつシステマティックに行われていると思う。

#### (3) 教育活動

- abcd. 各学生の目標やスキルが幅広く、基準の設定が毎年の課題との事でしたが、業  
界との関係強化はより必要と感じます。また、学生の個性や背景等についても  
配慮する場合もあると思います。
- e. インターシップのあり方、考え方を考える。
- h. 授業の質を維持・向上は必須の条件ですが、今『より高いレベルの教員』に求め  
られる資質は何かと考えさせられました。

#### (4) 学修成果

- b. 一般的に、メンタルヘルスの重要性が年々増しているように思います。退学の予  
兆の早期発見のために保護者様との連携も非常に重要と思います。
- d. 卒業生専用の公式窓口、サポート体制の整備はコンプライアンスの観点から必  
要と思います。

#### (5) 学生支援

- a. 企業が欲しい人材という点で、単純な技術要員となるだけでなく将来性を期待で  
きる人材の提供をしていただきたい。学生本人の資質とも言えるかもしれないが、う  
まく導いていくことで、結果的に就職率の向上に繋がっていく気がする。
- d. 休憩を取らせる事も必要ですが、体調がすぐれないときは病院受診また場合によ  
っては救急車の手配も必要と思われます。
- g. 希望の職種に就職出来ず、就職浪人やアルバイト等をしている卒業生へのフォロ  
ーをちゃんとしているようですが、経験者のみ採用する求人しかない職種もあるか  
と思います。そのような場合の対応はどうなっているのでしょうか？

(6) 教育環境

- a. 設備は個人購入を前提していますか？
- b. 企業側の連携強化は必須だと感じる。理想とする職業の現場だけでなく、それに関わる業界全体を体験できる仕組みなどがあると学生の意欲向上や新たな刺激になって面白いと思う。
- c. 年に一度、備蓄品の整理整頓と備蓄食料の日付チェック、補充などをした方が良いかと思う。

(7) 学生の受入れ募集

- a. ホームページ等各種媒体について情報が簡潔にまとめられたと思います。パンフレット掲載の学生名がイニシャルにて表示されていますが、個人情報保護等の理由があるのでしょうか？
- b. 教育成果が正確に伝わっているか、アンケートなど生の声を聞いてみるのはどうか。

(8) 財務

この項目は、ご意見がありませんでした。

(9) 法令等の遵守

この項目は、ご意見がありませんでした。

(10) 社会貢献・地域貢献

- b. ボランティアへの参加は大変なこともあるが、学生にとっても人の役に立つ経験を通じて、コミュニケーション能力を養うことができると思う。